

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>

第1回企画展～ある郷土史家のみたふるさと溝口～終わる

溝口に生まれ、ふるさと館の発展にもご尽力いただいた上田恒三氏の史料と著書をご披露した企画展が、7月29日(日)をもって終了しました。多方面にわたる膨大な史料の中から、今回は幕末から近代移行期の溝口について上田氏の想いやふるさとの風景の一端を紹介しました。川崎市内外の各地から大勢の方々にご覧いただくことができ、“近代移行期の詳しい溝の口が分かって良かった。”“レイアウトや展示品などが分かり易かった。”“折角の史料だから引き続き他の領域も是非企画してほしい。”という声が聞かれました。次回開催するときは、今回同様領域を絞って実施することになるかと思えます。内容、予定が決まり次第お知らせいたしますので、お待ちいただきたいと思えます。この度の開催にあたりまして、川崎市公文書館の方々、また文書監修・写真監修に多くの方々にご協力いただきました。改めて感謝し御礼申し上げます。



“訪ねて楽しい大山街道” 出版記念シンポジウム 10月に開催!

大山街道ふるさと館で2年間にわたり取り組んできましたがトブブック“訪ねて楽しい大山街道”が完成し、今年度3月に刊行することができました。東京赤坂御門前から二子、溝口、長津田、伊勢原を経て大山に至る街道筋を、地図、写真、コラムで解説したのですが、発行以来川崎市内外の皆様、学校関係者、街道ウォーキング愛好者等様々な方々に好評で多数ご購入いただいております。

そこで、刊行を記念し、編集に携わっていただいた方々に謝意を表すと同時に、市民の皆様へ大山街道の魅力を見つけていただくためにシンポジウムを開催致します。皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時 平成24年10月6日(土) 9時30分～12時

基調講演 「江戸時代の交通と脇往還の重要性」

講師 村上 直氏 (法政大学名誉教授)

シンポジウム「庶民の道“大山街道”の魅力を探る」

パネラー 中平龍二郎氏 (街道研究家)

池上真由美氏 (歴史研究家)

宮崎武雄氏 (いせはら歴史解説アドバイザー)

子ども大山街道探検クラブ代表

コーディネーター 宮田 進氏 (NPO教育活動総合サポートセンター顧問)

場所 大山街道ふるさと館 2F イベントホール

募集人員 40人 (参加費無料・先着順) 申込み 電話 044-813-4705 fax 044-814-0250



子ども探検クラブの活動 ～自由研究への取り組み～

今年は、昨年と違い夏休み中の探検クラブ特別活動日を増やし、自由研究の取り組みの時間を大



幅に確保したことが、子どもたちの意欲を刺激したようで素晴らしい研究作品が仕上がりました。子どもたちの集中力に感心しましたが、それにも増して子どもたちを温かく支援する保護者の皆さんの協力がとても有り難いと思いましたが、探検クラブでお世話になっている中平さん、阪口さんには何日もお出



かけいただき大変お世話になりました。頑張った子どもたちと完成した作品に拍手です。

中学生のための郷土理解講座 ～探ろう!大山街道～

夏休みのまっただ中の8月10日(金)に溝口周辺の地名や村名の由来、江戸時代の二子村・



溝口村の様子について講師の元川崎市中学校社会科研究部会長 對馬醇一先生から話を伺い、その後実際に大山街道を歩きながら街道沿いに残されている史跡の由来について解説していただきました。



今年度の新規事業で、郷土への愛着心を育み理解を深める機会を中学生にもとという目的でこの事業を行いました。生徒は古くから重要な役割を担ってきた街道の機能を具体的に理解できたかと思います。また、社会科自由研究の進め方についての話は生徒にとって参考になる内容でした。

〈お知らせ〉

第1回 文化講演会の開催

大山街道の歴史散歩 ～渡辺華山の「游相日記」から～

金子勤氏(郷土史・民俗学研究者)を講師にむかえ、東海道の脇往還として庶民の生活を支え文化発祥の源ともなった大山街道にまつわる風物や人物について語っていただきます。

◇日時: 平成24年9月15日(土) 午前10時～12時

◆会場: 大山街道ふるさと館 イベントホール

◇募集人数: 60人(現在募集中です。)

◆申し込み: 電話またはFAX でお願ひします。

電話 044-813-4705

FAX 044-814-0250



当館発行 ガイドブック資料より

「渡辺華山とお銀様より」